



ガス給湯器用リモコン取扱説明書

138-R022型・R023型

- ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- 機器本体の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に保管してください。
- この製品は国内専用です。

安全上のご注意

■製品を正しくお使いいただくためや、お客さまや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事例を示しています。

■絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、気を付けていただきたい
「注意喚起」内容です。



火災注意



この絵表示は、してはいけない
「禁止」内容です。



触れないこと 分解禁止



この絵表示は、必ず実行していただきたい
「強制」内容です。



電源プラグをコンセントから抜く



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

改造・分解禁止



■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。また、火災の原因になります。

やけど防止のため



■出始めのお湯は手や体にかけない

●お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは方が一機器の故障の際には、熱いお湯が出ることがあります。やけどの予防のために出始めのお湯は手や体にかけないでください。

●シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけないでください。

■給湯使用時は給湯栓が熱くなるのでやけどに注意する

■シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない

突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。



■手のひらで湯温を十分に確認する

●やけど防止のため、お湯を出す前にリモコンの給湯温度表示を確認し、出始めのお湯は体にかけないようにして、手で湯温を確かめてからお使いください。特に高温のお湯を使った後に再使用する場合は、配管中に熱いお湯が残っていることがありますのでご注意ください。また、使い始めは正常でも使用中に熱くなる場合もありますので、熱いお湯が出た場合はすぐに使用を中止してください。なお、このような状態が続く場合は機器の故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店またはよりの大阪ガスにご連絡ください。



●給湯温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。このような場合は湯量を多めにしたり、必要に応じて水を混ぜてから湯温を確認してお使いください。



お願い

この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事例を示しています。

■リモコンの取り扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
- お子さまがいたずらしないよう、注意してください。
- 炊飯器・電気ポットなどの蒸氣や温風をあてないようしてください。故障の原因になります。
- リモコンは乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。

■リモコンの設置場所について

- 室温が55℃を超えるサウナなどへは取り付けないでください。
(5~55℃の範囲で使用してください)
故障の原因になります。

■リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
画像や音が乱れことがあります。

■お手入れの際の注意

- けがには十分ご注意ください。
- みがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしななどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたり傷がつきます。
- 台所リモコンに洗剤をかけたり、水洗いしたりしないでください。また、台所リモコンの周りの壁にかけて垂れた洗剤や水はリモコンにかかるないように拭き取ってください。リモコンに洗剤や水が浸入して、故障の原因になります。



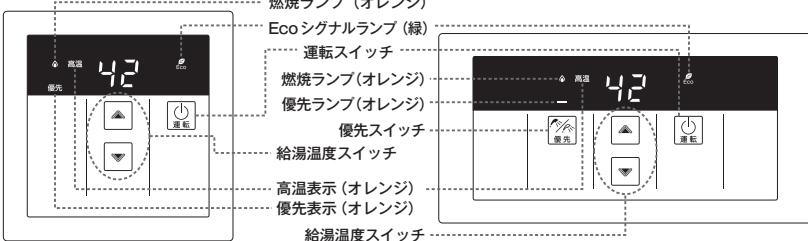
■別売部品について

- 別売部品はお使いの機器のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき

【台所リモコン 138-R022型】

【浴室リモコン 138-R023型】



- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- 操作確認音は運転スイッチが「入」のとき、▲と▼2個を同時に3秒以上押すことで消すことができます。
台所リモコン・浴室リモコン別々に設定できます。
元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

給湯温度を調節する

1 優先表示を確認する

- ・優先表示が出ている（優先ランプが点灯している）リモコンでのみ給湯温度を変更できます。
- ・最初に運転スイッチを「入」にした方のリモコンの優先表示が点灯します。
- ・浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が以下のように交互に切り替わります。
「浴室リモコン」 ⇌ 「台所リモコン」



優先ランプ(オレンジ)が点灯

2 ▲または▼を押して給湯温度を設定する

- ・▲を押すと温度が上がります。
- ・▼を押すと温度が下がります。
- ・▲を押し続けると、45℃以下では連続して変わります。46℃以上に設定したいときは、1回ずつ押してください。
- ・▼を押し続けると、連続して変わります。
- ・給湯温度を60℃に設定すると、表示画面に高温表示（オレンジ）を表示して注意を促します。



(例：給湯 41℃)



(例：給湯 60℃)

3 給湯栓を開いてお湯を出す

- ・お湯を出している間は、燃焼ランプ（オレンジ）が点灯します。
- ・お湯を出す量が少ないと、燃焼ランプが消えてお湯が水になることがあります。



【優先】について

- ・優先表示が出ている（優先ランプが点灯している）リモコンでのみ給湯温度が変更できます。
- ・台所・浴室・洗面所などにあるすべての給湯栓に対して、機器から同じ温度のお湯が供給されます。

※どのリモコンにも同じ給湯温度が表示されます。
そのため、お湯の使用中に他の人が給湯温度を変えると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。
このような事故を防止するため、どちらか一方のリモコンでしか給湯温度を変えられないようにしています。

例：台所リモコンで給湯温度を変更した場合

優先表示が出ているリモコンで給湯温度を
「39℃」→「40℃」に変更すると…



台所リモコン(優先)

もう一方のリモコンの表示も
「39℃」→「40℃」に変わります。



浴室リモコン

浴室でお湯を使っていないことを確認してから、変更してください。

Eco シグナルについて

Eco シグナルの見かた

Eco シグナルの光り方(点灯・点滅・消灯)で、お湯を出しすぎているかどうかがひと目でわかります。

お湯の量を少しづつ増やした場合の表示例



お湯の使用量の目安を
点灯・点滅・消灯で
お知らせします。

お湯の使用量	未使用時	Eco シグナル湯量以内	Eco シグナル湯量を少し超える	Eco シグナル湯量を大きく超える
Eco シグナルの光り方	消灯	点灯 	点滅 	消灯

※ Eco シグナルは目安ですので、実際の使用量とは異なることがあります。

※お湯を 2 か所以上で同時に使用している場合や給湯栓で水を混ぜて使用している場合は、上記の説明のように光らないことがあります。

※お湯の使用量が少ないとき(毎分約 2 リットル以下)は、Eco シグナルは点灯しません。

※ Eco シグナルは対応する機器に接続した場合のみ点灯します。

< Eco シグナル湯量の変更方法 > (台所・浴室リモコン別々に設定できます)

① 運転スイッチが「切」のときに ▲ ▼ を同時に 3 秒以上押す

② ▲ または ▼ を押して湯量の目安を選択する

■台所リモコン

「-」「6」「5 (工場出荷時)」「4」(リットル / 分) から選択できます。

■浴室リモコン

「-」「11」「10 (工場出荷時)」「8.5」「7.5」「6.5」(リットル / 分) から選択できます。

補 足

- Eco シグナルを表示させない場合は「-」を選択してください。
- 台所リモコンで「6」に設定したときは、使っているお湯の量が毎分約 6.5 リットルになると消灯します。
それ以外の湯量に設定したときは、毎分約 6 リットルになると消灯します。
- 浴室リモコンで「11」に設定したときは、毎分約 11.5 リットルになると消灯します。
「10」に設定したときは、使っているお湯の量が毎分約 10.5 リットルになると消灯します。
それ以外の湯量に設定したときは、毎分約 10 リットルになると消灯します。
- 小数点は表示されません。例：設定値 8.5 (リットル / 分) は「85」と表示されます。

③ 運転スイッチを押す

- 運転スイッチを押さなくても、そのまま 1 分経過すると、自動的に設定が完了します。



アフターサービスについて

- アフターサービス・保証については、機器本体に準じます。
- 保証書は機器本体の取扱説明書にあります。
- 当社は、保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器やリモコンに故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに、無料修理をいたします。(詳細は保証書をご覧ください)
- 保証書を紛失されると、保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。